

旬じょうはん

情勢判断学会 東京本部
会員向けニューズレター
発行人 古川 彰久
事務局 〒252-0321 神奈川県
相模原市南区相模台1-23-9
Tel.&Fax.
042-748-8240
<http://www.jouhan.com>
E-mail:info@iki2life.com

5月例会ご案内

日時 : 5月12日 木曜日
18:30 ~ 20:30
場所 : 港区立産業振興センター
10階 会議室4
会費 : 1000円
テーマ : 城野先生の「状況判断の行動学」
第二章「脳活用の東西比較」の後半
演者 : 神前 直哉

「日本人の知恵の構造」

(1) 「創造」とは新しい組み合わせ

「日本人は猿真似が上手で、西洋の技術や文化をすぐ真似することはできるが、創造的活動は不得意である」ということがよく言われる。

創造とは、これまでなかったものを新しくこの世につくり出すというわけであり、世界にこれまで存在しなかった物質元素を作り出すわけではない。元素という物質は地球生誕以来この世に存在しているわけで、発見はできるけれど創造はできない。技術発明といっても、そういう物質の新しい組み合わせをつくり出すことなのである。日本人はこうした仕事を少しもしなかったわけではない。

(2) 日本語は素晴らしい創造物

中国語は元来象形文字で成り立ち、言語構成も一つ一つの意味と音声をもっており、元来日本語とはまったく性質の違う言語である。その質的な違いを持つ中国語の文字を日本語に取り入れ、その音声だけを使って古事記や日本書紀時代の日本語を表現した。

それから半世紀もたつと、万葉集に見られるように、象形文字である中国語の文字の意味をとって、日本語の音声をあて、独特の言語をつくり上げてきている。このやり方がどんどん発展しカナ文字をつくり出し、さらに象形文字である中国語も使い、両者を融合させてしまった。

このように、性質の違う二つの言語の結合と、新しい発展という世界文化史に珍しい創造を行ったのである。

(3) 地震を考えた建築物

日本の建築は木造が主体で、ヨーロッパの石造の大建築に比べて、貧弱だという見方がある。

日本では木材が豊富であること、地震が多いという条件のもと五重塔をはじめとする地震による振動を計算に入れた耐震構造にすぐれた日本の建築法を発展させてきた。これは現在、霞が関ビルなどの高層建築における軟性構造の建築物として、千年も昔にはじまった日本式の創造性は今に活かされているのである。

「日本人は感情的で論理性がないのか」

(1) 誤解されてきた日本人

創造性がないという議論と同じで、ヨーロッパ的論理性を例にして、日本にはそれがないと学者の間でしばしば発言されているようである。

日本人には、ヨーロッパ哲学が社会活動の基準になっていないというのは事実であるが、それだからといって日本人は哲学がないから論理性がなく感情的だなどとは言えない。日本人には日本人の論理性があるのである。そればヨーロッパの論理とはちがっていることだけの話である。

(2) 中国の論理と日本

中国人は水田耕作の民族であり組織社会の意識の伝統をもっている。しかし、非常に古くから文化も経済も発展しているため、国家としての政権形成も早かった。

耕作農民の社会が戦乱の災禍を受け、収穫ができぬとなると、他人のもっているものを奪うより外は生きていく方法がない。こうして、中国には組織社会の脳反応とともに、ヨーロッパ論理と同じような個人所有の論理を発展させており、その表現は儒教の各派ともなってあらわれてくる。日本では明治になって入ってきた西洋哲学に感服してしまっただが、二千年前の中国の個人所有論理の哲学は、その本質においてとらえられていなかった。

(3) 海外思想のとり入れ

儒教もまた、日本人の生活の中には、組織社会の論理の部分だけが容易にとり入れられ、実生活の推進エネルギーとなり得た。武士階級の組織目標に対する行動の規制準則として作用し

得たのである。しかし、儒教の個人所有の論理は、元来の日本人にとって、生活には受け入れられる性質のものではない。だから学者や文化人の中での装飾品としては作用したが、庶民生活の中に溶けこむことはできなかったのである。

(4) 脳反応と日本経済

第二次大戦後の日本は、世界中から原材料を買ってきて加工し、買い入れた原料分を加工商品輸出で支払い、大部分を残して国内で消費し、国民生活を高めるといふ暮らし方を発明した。

これを支えているのが、日本古来からの組織社会の伝統であり、教育普及により、各人が各人の意見を自由に持てるが、同時にまた、組織社会の目的達成へ生き甲斐を見出すという、脳反応の存在なのである。そのことは、組織内において、各人の能力をできるだけ多く発揮することによって活かされているのである。

(5) キリスト教の育たない風土

日本でのキリスト今日の布教は、戦国末期からはじまるが、ヨーロッパではじめ考えていたような発展をしなかった。

これはヨーロッパ論理の根本が個人所有の論理であるところに、キリスト教という排他性中和の唯一神が必要とされ、また、経済問題に適用されると、カルヴィニズムにもとづく「資本主義の精神」ともなり、これを反対の側から追及して、マルクスの「搾取」の論理となるわけである。

日本人は個人が神の許しをうけてみても、実効は何も出てこない。耕作なり、収穫なりの組織集団の一員から外されると生きていけなくなる。村八分をはずしてもらうには、組織社会の許しを乞う以外にはない。だから日本の論理は個人所有でなく、組織社会との関係ということなのである。

こういうように、脳反応をつくり上げられている日本人にキリスト教がうけ入れられるのは日本人の組織社会論理には向かない範囲においてでしかない。

(6) まとめ

こうして見てくると、日本人は論理性がないという意見は、日本には、ヨーロッパ的論理性がないということまでは事実にあっているが、その反面、日本人としての組織社会の論理をもっているという事実を無視したものといえる。

日本人は自分の論理を持っていることに自信と誇りをもつべきである。日本人の脳の作用を十分に発揮させ、すばらしい社会と人間生活をつくっていくためには、この自信と誇りの上に、自己の「能力」の発展に確信をもたねばならない。

3月例会報告

日時 : 3月10日 木曜日
18:30 ~ 20:30
場所 : 港区立商工会館
テーマ : 城野先生の「状況判断の行動学」
の第一章「脳力」開発のすすめ
演者 : 塩沢 貴良

・人間の行動はすべて脳から

脳の作用は、興奮と抑制という2つの作用が1つに結合されているということについて、榊原氏よりコメントがあった。確かに車もアクセルをずっと踏み続けるという命令ではなく、同時にどこそでブレーキを踏むという命令もアクセルを踏んだ時点で決まっているのだと思った。

・いかに思うかで人生がきまる

一切の人間行動は脳の指令の作用によるものであるから、人間が愉快で、素敵な人生を生きていくかどうかは脳の指令作用によって決定される。参加メンバー内ではこの考え方には賛同する人が多かった。しかしながら実際の行動を見ていくと脳力開発を勉強している私たちでも伴っていない面が見えた。自分の脳の力をもっと高めることが出来る。こう考える点においては諸先輩方の中には少しブレーキがかかっているかたも見受けられたように思える。特に、実績をしっかりと残されてきた先輩に多く、新たなチャレンジに少しおっくうになっているようにも見受けられた。

・140億の脳細胞とシナプス形成

脳細胞の数と脳神経の伝達速度は天才とボンクラと呼ばれる人も変わらない。その差はシナプス形成の多い少ないと使い方の差からでている。シナプス形成はインプットを実際の行動で他の刺激と結びつけたときに起こる。

こちらの意見にも賛同が多かった。また日本の今までの教育はインプット過多が多く、刺激と結びつけた行動と結びつけることが少ないように感じるとの意見もでた。その理由はなぜかという失敗したくないから。例えば英会話が日本人に身につかないのは「完璧に覚えてから話す」と考えにとらわれており、相当勉強しても一切話せない場合も多い。逆に間違っただい英語でも失敗を繰り返しながら自信を持ってしゃべろうとする、英語を第二外国語として学ぶ人の方が上達するのも納得した。

・常に情報をインプットせよ

経済、政治、軍事、国際の情勢は少しでもインプットする。学生時代の勉強の出来る、出来ないではなく、その後の情報のインプット量が多いと、人物は出世するその通りとの意見が多かった。

・情報のつながりを持つ

「私はこれが専門」「そういう言うことは素人ですから」専門家という自意識を持つと脳力の展開はストップする。理由は深い穴が掘れなくなるから。深い穴は周りも掘らないと駄目。とてもわかりやすい例だった。

コロナ渦においては時に専門家からも困った提言が出たことを思い出した。「2才の子にもマスクをつける」感染症予防が専門のグループからでた提言だったが、その後撤回された。感染症予防の針の穴を掘ったところ、2才児の育児の経験、情報が不足、深掘りできずに失敗した。こうなると今までの提言も果たして正しかったのか疑問に思える。専門家の意見だけを聞くと間違いを犯す理由が明確になった気がする。また、インプットしたらつながりをもつと言うことも大切だと良く理解出来た。情報とはそれ1つでは役に立たない。他とのつながりをもたせ、救援するように一つめ、三つ目の情報をつなげて大きな力を得ることを学んだ。台湾を始め諸外国の例も出た。

今回のことは基本的なことだが、生活していく上でとても重要な要素を学んだ。脳力開発は現代の世の中でも相当有用な学問だと考える。

